

小橋三四子 ジャーナリスト。草創期の婦人紙誌で啓蒙活動、飛躍をめざして留学するも、早世した。

こばしみよこ

岩倉具視没・1883 = 静岡県に生れる。小橋光次郎の次女。

国民之友始・1887 = 4歳：上京，

帝国憲法発布1889 = 6歳：

大本教・・・1892 = 9歳：

日清戦争始・1894 = 11歳：

府立第一高等女学校卒業し，開校したばかりの日本女子大学校国文学部に入学，
田中正造直訴1901 = 18歳：受洗し，

日露戦争始・1904 = 21歳：第1回生として卒業。

日露戦争終・1905 = 22歳：成瀬仁蔵校長の要請に応え，柳八重子とともに同校の同窓会誌{家庭週報}{家庭}の編集人をつとめ，
日本YMCA機関誌{明治の女子}・キリスト教婦人雑誌{新女界}編集に参加。

韓国併合・・・1910 = 27歳：

明治天皇没・1912 = 29歳：

第一次大戦始1914 = 31歳：{読売新聞}婦人付録の編集主任となる。

21ヶ条要求・1915 = 32歳：ついで{婦人週報}の発行並編集人となり，
女性に対する職業的訓練の必要を説き，さらに女性の地位向上のために男性の覚醒の必要を説く。さらに
婦人記者倶楽部づくりにつとめ，日本基督教婦人矯風会の公娼全廃運動に参加し，大沢豊子・竹中繁・波多
野秋子・杉田鶴子・守屋東・ガントレット恒子らと親交を結びながら，

ハルビン条約・1919 = 36歳：この年まで続けた。さらなる飛躍をめざして，米国コロロンビア大学に留学，
新聞学と婦人問題を研究し，欧州を回って，

原敬首相暗殺1921 = 38歳：帰国。主婦之友社に入社し「サンガー婦人会見記」を書くが，

水平社結成・1922 = 39歳：直後に没した。